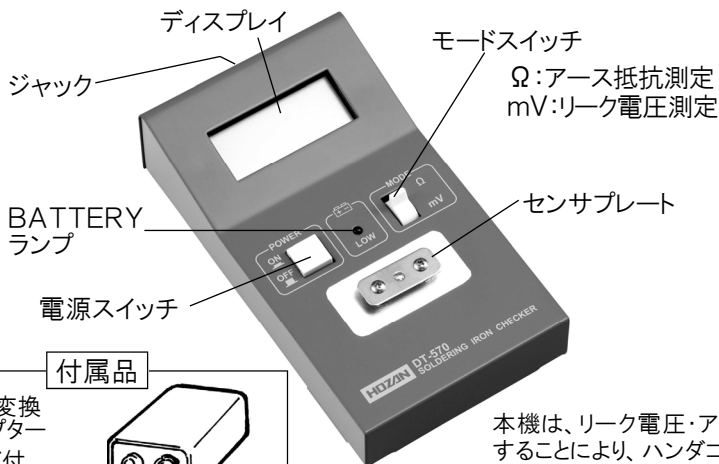


DT-570

ハンダゴテチェッカー

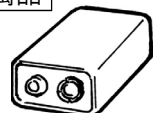
このたびはホーザン DT-570 ハンダゴテチェッカー をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

各部の名称と入組明細



付属品

- ・2ピン変換アダプター
- ・プラグ付アースコード



積層(6F22)電池

本機は、リーク電圧・アース抵抗を測定することにより、ハンダゴテの状態を常にチェックし、良好に保つのに役立ちます。従って、アース端子付きのハンダゴテにのみご使用になれます。

電池は動作確認用につき、寿命の保証はございません。

仕様

リーク電圧	分解能	0.1mV
	測定範囲	0~199.9mV
	確度	±(5%rdg+1dgt)
アース抵抗	分解能	0.1Ω
	測定範囲	0~199.9Ω
	確度	±(5%rdg+1dgt)
最大表示	199.9カウント(バーンアウト:1)	
サンプリングレート	2回/秒	
電源	積層(6F22)電池×1(付属)	
電池寿命	約20時間(連続使用時)(電池残量警告機能付)	
外形寸法	71(W)×31(H)×125(D)mm (突起含まず)	
重量	300g	

注意文の警告マークについて

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

⚠警告 …重傷をとまなう重大事故の発生を想定してのご注意

⚠注意 …傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、**⚠注意** として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねく恐れがあります。正しく安全にご使用ください。

ご使用上の注意

⚠ 注意

1. センサプレートに強い力を加えると変形します。測定時に、不必要にハンダゴテを押し付けしないでください。
2. センサプレートの取り付けネジが緩んでいると正確な測定が行えません。ご使用前にセンサプレートが正しく固定されていることを確認してください。

準備

1 電池を入れます。

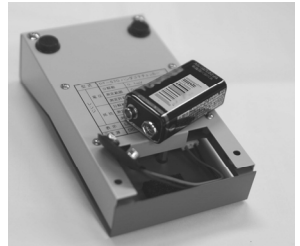
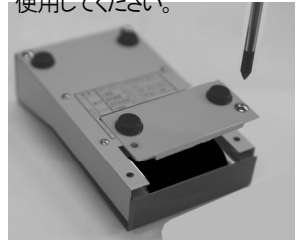
裏面の電池ボックスのフタを開けます。

フタを外したときに胴、表部分との固定もいっしょに緩みますが、他のネジを緩めない限りバラバラにはなりません。

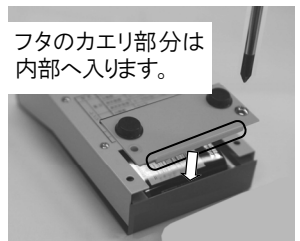
9Vスナップホックに、積層(6F22)電池を正しく接続します。

フタを元通り取り付けます。

⊕ドライバーNo. 1を使用してください。



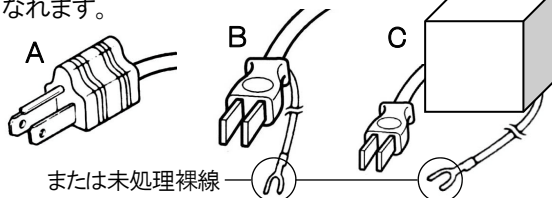
フタのカエリ部分は内部へ入ります。



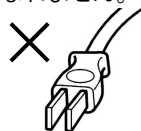
準備

2

アース端子付きのハンダゴテにご使用になれます。



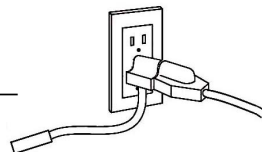
アース端子が付いていないハンダゴテにはご使用になれません。



接続

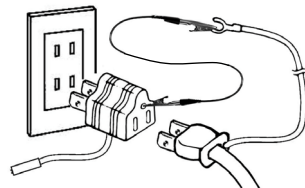
上記、Aのプラグのハンダゴテの場合：

測定するハンダゴテの電源プラグを付属の2ピン変換アダプターに差し込み、2ピン変換アダプターをコンセントに差し込みます。



上記、BまたはCのプラグのハンダゴテの場合：

アース端子の端にワニグチクリップなどを取り付け、2ピン変換アダプターの穴に差し込めるようにします。あとはAのプラグと同様に接続します。



3

温調式ハンダゴテの場合は最高温度に設定します。

ご使用方法

1

付属のプラグ付アースコードの片方のプラグを本機の上部のジャックに差し込みます。

2

モードスイッチで希望のモード(mV:リーク電圧測定、または Ω :アース抵抗測定)を選びます。

3

電源スイッチを押します。BATTERYランプが点灯しないことを確認します。BATTERYランプが点灯した場合やディスプレイに何の表示も出ない場合は電池を新品に交換してください。

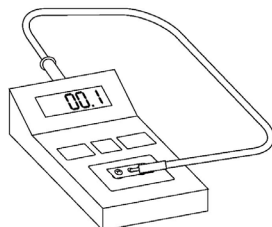
4

本機に接続されたプラグ付アースコードの、もう一方のプラグをセンサプレートに当てます。徐々に低い値に近づき安定しますので、その値を記録してください。

mVモードの場合の値を $[V_1]$ 、
 Ω モードの場合の値を $[R_1]$ とします。

この値がご使用環境のゼロ点(基準点)になります。

プラグ付アースコードが接続されていないと(回路開放時)表示が乱れますが故障ではありません。



ご使用方法

5 2ピン変換アダプターのソケットに、本機に接続されたプラグ付アースコードのプラグを接続します。

6 ハンダゴテの電源を入れ、暖まったらコテ先に少量のハンダをのせてぬらします。

7 センサプレート中央にハンダゴテをあて、センサプレートのハンダが十分溶けるまで加熱します。

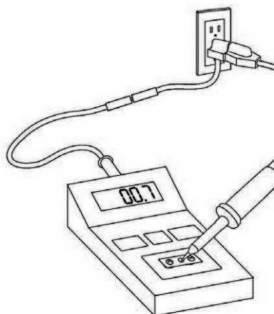
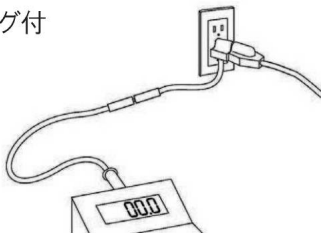
8 表示が安定したら値を読み取り、記録します。
mVモードでは、ハンダゴテが最高温度に達したとき(温調式でない場合は十分に熱する)に読み取ってください。

mVモードの場合の値を $[V_2]$ 、
 Ω モードの場合の値を $[R_2]$ とします。

9 コテ先-GND間のリーク電圧(V)とアース抵抗(R)を次の式で求めます。

リーク電圧 $V = V_2 - V_1$ (単位mV)

アース抵抗 $R = R_2 - R_1$ (単位 Ω)



保守と校正

- ・ センサプレートは消耗品です。上記 R_1 の値が大きくなってきたら交換してください。
[交換部品:DT-570-1 センサプレート]
- ・ 鉛フリーハンダをご使用の場合、センサプレートの劣化は特に早くなります。
- ・ 本体塗装部にフラックスなどが付着した場合はアルコールで軽くふき取ってください。
シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
- ・ 一定期間ご使用後の校正は当社までご依頼ください。校正の周期については、当社での基準はございませんので、お客様において任意の校正周期を設定してください。
なお、当社の校正業務に使用する標準器は、一年に一度の定期校正を実施しております。

ホーサン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12

製品・補修部品はWebサイトにてご購入いただけます。
<https://www.hozan.co.jp/>



技術的なお問い合わせ

ホーサン テクニカルホットライン

☎06-6567-3132 / E-mail : th@hozan.co.jp

[月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00、13:00~17:00]